

金ヶ崎町国民健康保険

第2期データヘルス計画

第3期特定健康診査等実施計画

中間評価報告書

令和3年2月

金ヶ崎町

目 次

1	計画策定の経緯	2
2	計画の期間	2
3	実施体制・関係者連携	2
4	中間評価の目的	3
5	中間評価の方法	3
6	中間評価及び評価指標の見直し	4
7	全体評価と今後の方向性	11

1 計画策定の経緯

日本再興戦略（平成25年6月14日閣議決定）において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析に基づく「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取り組みを求めるとともに、市区町村国保が同様の取り組みを行うことを推進する。」とされ、保険者がレセプト等を活用し、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画であり、国から策定を求められております。また、保健事業の中核をなす「特定健康診査等実施計画」は、高齢者の医療の確保に関する法律第19条の規定により、策定が義務付けられております。

前計画の「金ケ崎町国民健康保険データヘルス計画」及び「第2期特定健康診査等実施計画」が平成29年度に終了することから、引き続き被保険者の生活習慣病の発症や重症化を予防し、健康寿命の延伸や医療費の適正化を図ることを目的として、両計画を一体化し「金ケ崎町国民健康保険 第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画」を策定しました。

2 計画の期間

平成30年度（2018年度）から令和5年度（2023年度）までの6年間を計画期間としています。

3 実施体制・関係者連携

国民健康保険主管課と保健事業主管課が連携し、岩手県国民健康保険団体連合会の協力を得るとともに、岩手県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会による指導・助言を受けるものとしています。

また、町内企業、NPO法人金ケ崎スポーツクラブ、金ケ崎町生涯スポーツ事業団、金ケ崎町食生活改善推進員協議会、国民健康保険金ケ崎診療所等の関係機関とも連携し、更に奥州医師会にも協力を得ながら事業を推進します。

4 中間評価の目的

評価指標の進捗状況や取組状況の評価することで課題の整理を行い、事業効果を高めるために事業内容の見直しを行うなど、目標達成に向けた方向性を見出すことを目的とします。

5 中間評価の方法

個別保健事業の評価指標について、実績を比較し4段階（A：改善 B：変わらない C：悪化 D：評価困難）で評価し、今後の事業の方向性を3段階（a：継続 b：縮減 c：廃止・休止）で評価した上で、評価指標や目標値の見直しの可否を判断し、必要に応じ修正等を行いました。

6 中間評価及び評価指標の見直し

評価指標を新たに4項目追加するとともに、最終目標値を3項目修正する見直しを行いました。

以下、表中の下線は新たに設定又は目標値を修正した箇所、見え消しは削除した箇所となります。

(1) 計画における目的・目標（アウトカム評価）

【目的】

項目	目標		ベースライン (H28)	実績値	評価※ (ベースラインとの比較)	最終目標値
	評価指標	目標値 (達成時期: R6)		R1		
被保険者の健康維持増進	平均自立期間 (要介護2以上)		男性 78.9年 (76.9~80.9)	男性 79.5年 (77.4~81.7)	B	男性 81.0年
	()内は95%信頼区間		女性 83.8年 (82.3~85.3)	女性 82.7年 (80.8~84.6)		女性 85.4年

※「ベースライン」と実績値を見比べて4段階で評価（A：改善している B：変わらない C：悪化している D：評価困難）

目的評価指標及び目標値を設定していなかったため、新たに設定しました。

【目標】

項目	目標		ベースライン (H28)	実績値	評価※ (ベースラインとの比較)	最終目標値
	評価指標	目標値 (達成時期: R6)		R1		
特定健康診査受診率及び	特定健康診査受診率 (受診者数/対象者数)		49.9% (1,241/2,488)	51.9% (1,189/2,290)	B	60.0%
特定保健指導実施率の向上	特定保健指導実施率 (実施者数/対象者数)		13.4% (19/142)	18.6% (26/140)		60.0%
健診異常値放置者の減少	未治療者率：KDB (未治療者数/受診数)		8.6% (107/1,240)	6.8% (81/1,191)	A	5.0%
	未治療者率：KDBから独自計算 (未治療者数/受診勧奨者数)		15.4% 107/694	11.4% 81/709		10.0%
生活習慣の改善、地域全体の健康意識の向上	健康に暮らせていると感じている町民の割合			84.6%	D	86.0% (参考) 総合計画指標R7 86.8%
	アクティブガイド行動変容ステージ「気づく」の割合			18.6% (221/1,191)		17.0%

※「ベースライン」と実績値を見比べて4段階で評価（A：改善している B：変わらない C：悪化している D：評価困難）

目標評価指標及び目標値を設定していなかったため、新たに設定しました。

なお、特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率については、第3期特定健康診査等実施計画の指標及び目標値となっています。

(2) 評価指標の達成状況

事業名	目標		ベースライン (H28) ()は現在 KDB で 確認される数値	実績値	評価※1 (ベースラインとの比較)	今後の 方向性※2	最終 目標値
	評価指標	目標値 (達成時期: R 5)		R1			
特定健康診 査受診勧奨 事業	特定健康診査受診率 (40～64 歳)	男性 45%	36.6%	34.1% (143/419)	B	a	
		女性 55%	48.0%	46.4% (180/392)			
	特定健康診査受診率 (40～74 歳)	60%	49.9%	51.9% (1,189/2,290)			
特定保健指 導事業	特定保健指導による 特定保健指導対象者 の減少率	25%	21.4%	35.5% 11/31	B	a	
		特定保健指導対象者の 減少率	25%	14.6% (11,481,634 -9,806,924) /11,481,634	A		
健診異常値 放置者受診 勧奨事業	未治療者率	5%	8.5% (8.6%) (107/1,240)	6.8% (81/1,192)	A	a	
糖尿病性腎 症重症化予 防事業	対象者の医療機関受診 率	20.0%	—	57% (受診 4 人 / 7 人)	A	a	60.0%
	未治療者率 (KDB)			6.7% (81/1,192)	A		
ジェネリッ ク医薬品差 額通知事業	ジェネリック医薬品普 及率 (数量ベース)	80.0%	71.9%	83.2% (2,543,351/ 3,056,611)	A	a	85.0%
健康づくり 事業	健康づくり推進事業 (食 改委託) 実施回数	維持	27 回	26 回	B	a	
	特別総合保健事業実施回 数	維持	128 回	115 回	C		
	がん検診受診率	維持・向上	H30 受診率	別表受診率 のとおり	B		
	1日30分以上の運動習 慣なしの割合	65%	70.3% (70.1%)	74.6%	C		17.0%
	生活習慣を改善するつも りのない割合	25%	30.0% (29.9%)	32.0%	C		
	アクティブガイド行動変 容ステージ「気づく」の 割合			18.6% (221/1,191)			

※1 「ベースライン」と実績値を見比べて4段階で評価 (A: 改善している B: 変わらない C: 悪化している D: 評価困難)

※2 今後の事業の方向性を3段階で評価 (a: 継続 b: 縮減 c: 廃止・休止)

(3) 個別保健事業におけるアウトプット評価及びアウトカム評価

事業名	評価指標	目標値 (達成時期 : R5)	ベースライ ン (H28) ()は現在 KDBで確認さ れる数値	実績値		
				H29	H30	R1
1 特定健康診 査受診勧奨事業	対象者への通知率	100%	100%	100%	100%	100%
	短 40～64歳の特定健康診査受診率	男性 45% 女性 55%	36.6% 48.0%	34.9% 42.9%	36.7% 48.5%	34.1% 46.4%
	中 特定健康診査受診率	60%	49.9%	49.0%	52.3%	51.9%
2 特定保健指 導事業	特定保健指導実施率	60%	13.4%	23.0%	21.9%	18.6%
	短 特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	25%	21.4%	22.2%	14.3%	35.5%
	中 特定保健指導対象者の減少率 (H20年度比)	25%	(参考値) 16.0% 特定保健指導 対象者割合	-	-	14.6%
3 健診異常値 放置者受診勧奨 事業	対象者への通知率	100%	100%	100%	100%	100%
	短 対象者の医療機関受診率 (委託事業分)	30%	25% 直営実施実績	-	11.5% (15人/ 130人)	-
	中 未治療者率 (KDB)	5%	8.5% (8.6%)	7.7%	7.3%	6.8% (R2.10月 暫定値)
4 糖尿病性腎 症重症化予防事 業	対象者への通知率	100%	—	100%	100%	100%
	依頼を受けた者に対する指導	100%	100%	100% (1人)	100% (3人)	100% (2人)
	短 対象者の医療機関受診率	20%	—	0% (受診0人/ A1c7.0%↑5 人)	40% (受診4人/ 10人)	57% (受診4人/ 7人)
中 未治療者率 (KDB)	5%	8.5% (8.6%)	7.7%	7.3%	6.8%	
5 ジェネリッ ク医薬品差額通 知事業	対象者への通知率	100%	100%	100%	100%	100%
	短・中 ジェネリック医薬品普及率	80%	71.9%	74.7%	80.6%	83.2%
6 健康づくり 事業	健康づくり推進事業	維持	27回	25回	28回	26回
	特別総合保険施設事業実施回数	維持	128回	105回	105回	115回
	中 がん検診受診率	維持・向上	P10 がん検診受診率のとおり			
	1日30分以上の運動習慣なしの割合	65%	70.3% (70.1%)	73.2%	74.4%	74.6%
生活習慣を改善するつもりのない割合	25%	30.0% (29.9%)	30.9%	35.7%	32.0%	

(4) 詳細分析

①特定健康診査受診勧奨事業（特定健康診査受診率）

性別	男性			女性		
年度	H29	H30	R1	H29	H30	R1
年代	40-64 歳					
対象者（人）	493	449	419	475	425	392
受診者（人）	172	165	143	204	206	180
受診率（%）	34.9	36.7	34.1	42.9	48.5	46.1
年代	65-74 歳					
対象者（人）	739	737	749	725	724	729
受診者（人）	395	413	408	420	438	457
受診率（%）	53.5	56.0	54.5	57.9	60.5	62.7
年代	全体					
対象者（人）	1,232	1,186	1,168	1,200	1,149	1,121
受診者（人）	567	578	551	624	644	637
受診率（%）	46.0	48.7	47.2	52.0	56.0	56.8

3年間ほぼ横ばいでしたが、全体としてみると、平成30年度から追加健診勧奨をハガキに変更、みなし受診の情報提供、令和元年からは人間ドックにかかる費用助成額を5,000円から10,000円に増額したこと等を要因として微増しています。

②特定保健指導事業（特定保健指導実施率）

性別	男性			女性		
年度	H29	H30	R1	H29	H30	R1
年代	40-64 歳					
積極的支援対象者数（人） A	25	27	25	9	7	5
積極的支援終了者数（人） B	3	1	2	1	1	1
動機づけ支援対象者数（人） C	16	10	5	11	17	21
動機づけ支援終了者数（人） D	3	2	1	3	2	7
保健指導実施率（%） (B + D) / (A + C)	14.6	8.1	10.0	20.0	12.5	30.8
年代	65-74 歳					
積極的支援対象者数（人） A						
積極的支援終了者数（人） B						
動機づけ支援対象者数（人） C	51	53	52	27	41	32
動機づけ支援終了者数（人） D	8	11	8	14	17	7
保健指導実施率（%） (B + D) / (A + C)	15.7	20.8	15.4	51.9	41.5	21.9
年代	合計					
積極的支援対象者数（人） A	25	27	25	9	7	5
積極的支援終了者数（人） B	3	1	2	1	1	1
動機づけ支援対象者数（人） C	67	63	57	38	58	53
動機づけ支援終了者数（人） D	11	13	9	17	19	14
保健指導実施率（%） (B + D) / (A + C)	15.2	15.6	13.4	38.3	30.8	25.9

個別支援とグループ支援を併用し、毎年対象となる方が参加しやすい内容で実施しています。

③健診異常値放置者受診勧奨事業 及び ④糖尿病性腎症重症化予防事業

【A】業者委託の受診勧奨事業

H30 H29 の実績により対象者を抽出し H30.8 月勧奨通知 (H30 特定健診実施後結果通知前)

R01 R01 の実績により対象者を抽出し R02.3 月勧奨通知

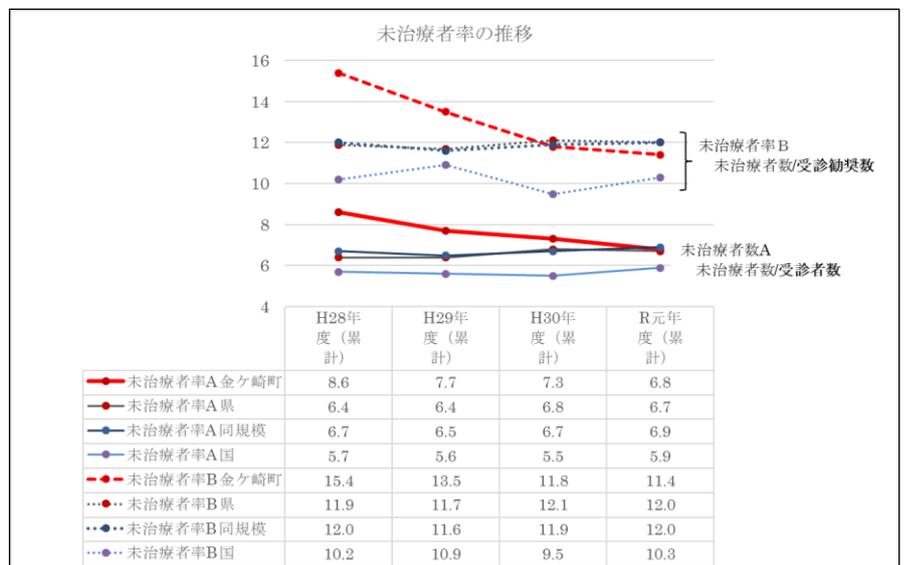
【B】健診結果通知書発送の工夫 (マーカーかけ)

H30年度開始

概要	H30	H29
通知対象	C判定のうち精密検査の必要な人のみ	C判定者全員(精密検査の必要な人及び治療中)
通知内容	精密検査受診勧奨通知	C判定の項目が未治療である場合に精密検査を受けてほしい旨の通知
通知作業及び通知方法	職員がC判定者の結果票を個別確認し、該当所見にマーカーしたうえで、シンプルに改善した受診勧奨通知書を封入し町から送付	予防医学協会がC判定者に一律に封入し直送
結果	H30	H29
総合判定 C 人数(人) A	579	548
精密検査受診勧奨数(人) B	458	548
受診報告回答数(人) C	135	71
通知数に対する受診報告回答率 (%) $C/B \times 100$	29.5	13.0
総合判定 C の人数に対する受診報告回答 (%) $C/A \times 100$	23.3	13.0

委託業者による受診勧奨は、詳細な医療費分析に基づく対象者抽出ができるものの、通知までに時間を要するためタイムリーな勧奨とならない課題がありました。そこで、健診結果通知書発送の工夫をしたところ、効果的であったため事業を継続しています。

経済的な理由により継続受診が困難な方には保健指導により悪化を防ぐ取組を行います。



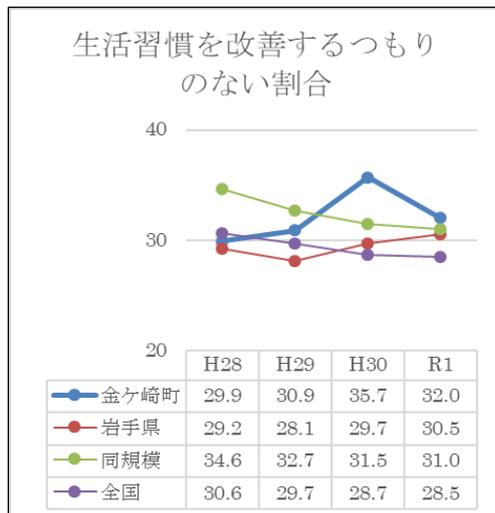
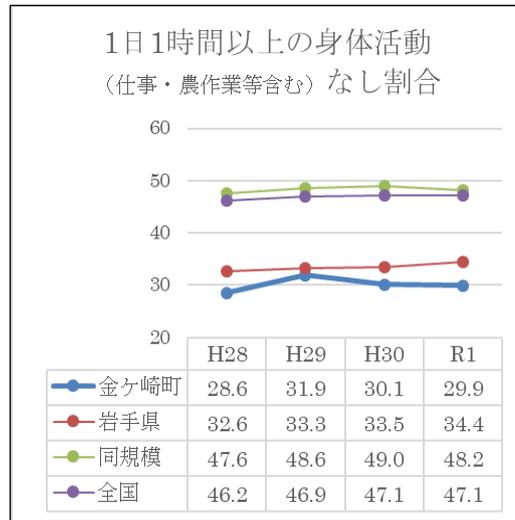
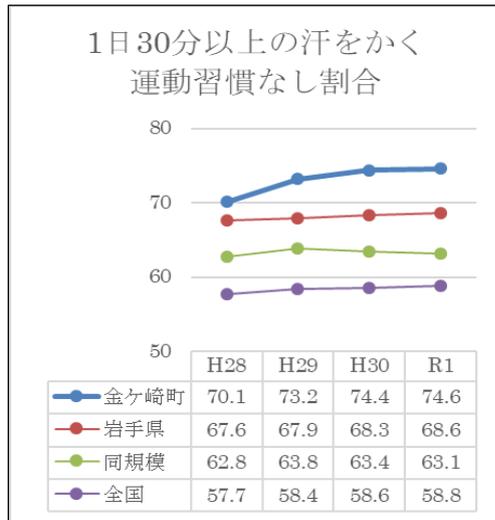
⑤健康づくり事業

○がん検診受診率（地域保健・健康増進事業報告）

	平成30年度				令和元年度			
	受診率	対象者	受診率	対象者	受診率	対象者	受診率	対象者
			(再掲)	(再掲)			(再掲)	(再掲)
			国保	国保			国保	国保
胃がん 男	16.4	2,184	32.9	777	16.5	2,133	34.0	721
胃がん 女	23.7	2,040	34.3	776	24.2	1,996	37.7	697
大腸がん 男	13.1	3,289	31.7	922	12.8	3,292	31.3	868
大腸がん 女	24.1	3,001	41.9	876	24.0	2,965	40.7	797
肺がん 男	13.1	3,289	36.8	922	13.0	3,292	38.6	868
肺がん 女	24.2	3,001	47.0	876	23.9	2,965	49.4	797
子宮頸がん	28.6	4,349	33.1	1022	29.2	4,305	34.2	949
乳がん	34.8	3,001	41.4	876	35.6	2,965	44.5	797

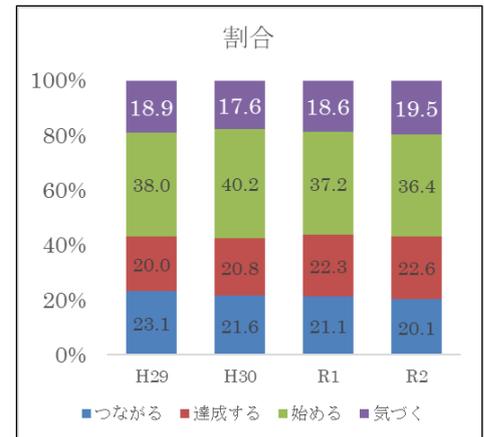
がん検診受診率は平成30年度から算出方法が統一されたため、独自計算していた受診率との比較が困難な状況となりました。最終評価は平成30年度と比較して評価します。

○運動習慣関連指標（KDB）



○アクティブガイド行動変容ステージ別分類別人数（特定健康診査「標準的な質問票」より）

	つながる	達成する	始める	気づく	合計
H29	285	247	469	234	1,235
H30	267	260	502	220	1,249
R1	261	266	443	221	1,191
R2	248	262	422	226	1,158



○ステージの判断基準

1日1時間以上の身体活動あり	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ
運動習慣あり	はい	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ
歩行速度が速い	↓	はい	いいえ	↓	はい	いいえ
行動変容ステージ	つながる	達成する	始める		気づく	

運動習慣なしの人の割合は全国より高い一方で、1日1時間以上の身体活動（仕事・農作業を含む）の少ない人の割合は低い状況です。身体活動全体の評価ができるよう、評価指標を見直しました。

7 全体評価と今後の方向性

個別保健事業の評価としては、改善（A）5事業、変わらない（B）4事業、悪化している（C）3事業、評価困難（D）0事業となりました。概ね順調に事業を実施できていると評価します。

社会環境や生活様式の変化等を考慮しながら事業を継続していきます。